Ministry of Land,Infrastructure,Transport and Tourism

東北地方整備局新聞

第14号
2026年(令和8年)
11月12日

発行所　国土交通省東北地方整備局　〒980-8602　宮城県仙台市青葉区本町3－3－1　仙台合同庁舎B棟　電話022－225－2171(代表)

いよいよ最終合格発表！（11/17予定）

東北地方整備局で面接を行います！

国家公務員一般職試験（高卒者試験）の最終合格発表（十一月十七日）が近づいてきました。

東北地方整備局では、最終合格発表後に採用面接を実施します。採用面接の日程や申込方法などの詳細は、ホームページでご案内しますので、東北地方整備局で働くことに興味のある方はぜひご確認ください。

【若手職員の声】



東北地方整備局では、「河川」「道路」「港湾」「機械」「電気・情報通信」「営繕」の各分野で若手職員が活躍しています。

今回は先輩職員の仕事内容や仕事のやりがい、東北地方整備局で働く魅力を紹介します。

【河川】



三原 魁人　2024年入省
仙台河川国道事務所流域治水課
（現：企画部技術管理課）

河川分野では、水害から地域を守るため、河川の調査・計画から工事、維持管理まで一体的に取り組んでいます。

私は流域治水課で、宮城県を流れる名取川水系と阿武隈川水系の整備のための計画策定や、治水対策を住民に伝える出前講座を担当しています。川の整備や防災対策は、大雨のときに被害を防ぐ重要な役割を果たします。自分の業務が、地域の安全や日々の暮らしを守ることにつながっていることを実感できた時、大きなやりがいを感じます。また、自分の携わる一つ一つの仕事が大きな事業へとつながり、完成した現場を見たときに、「この仕事に係わることができて良かった」と感じることができるのがこの仕事の魅力であり、やりがいです。

【道路】



瀬倉 英　2024年入省
岩手河川国道事務所工務第二課
（現：企画部企画課）

道路に関して、計画・工事・維持管理まで一連の業務を広く監督し、受注者の方々と協力しながら、地域の安全・安心を支える道路づくりに取り組んでいます。

私は、岩手河川国道事務所で、国道4号と46号の、新しく道路を造る際の工事の金額を算出する「積算」業務に携わっています。どんな仕事でも共通することですが、業務で分からないことを理解して関係者に分かりやすく伝えるというコミュニケーションが、いつも大変だと感じています。しかし、仕事で知識を身に付け、あらためて外を歩いた際、その土地の道路整備の良いところ・悪いところがみえたとき、技術者として成長を感じます。

【港湾】



田村 佳弘　2019年入省
青森港湾事務所工務課
（現：小名浜港湾事務所工務課）

港湾分野では、岸壁や防波堤など港湾施設整備に関する業務を行っています。私は、青森港湾事務所の工務課に所属し、事業の実施計画や関係者との調整、予算管理を行っています。

現在、青森港では洋上風力の基地港湾整備事業が最盛期を迎えております。想定外の出来事が起こることもありますが、実施計画を立案し、決められた予算、工期、現場条件などの制約がある中で、工事が無事完了したときにやりがいを感じます。この事業は、地元経済を支え、エネルギー拠点整備としての大規模プロジェクトであり、地域に貢献できる大きな使命感も感じています。



特集

11月23日15時開通！

日本海沿岸東北自動車道 遊佐象潟道路（小砂川IC～象潟IC）



東北地方整備局が事業を進めてきた日本海沿岸東北自動車道の小砂川IC～象潟IC間（7.3km）が、十一月二十三日に開通します。

遊佐象潟道路は、日本海沿岸東北自動車道の一部で、山形県飽海郡遊佐町北目から秋田県にかほ市象潟町小滝に至る延長17.9kmの自動車専用道路です。



②工事状況写真 9/28 撮影（奈曽川付近）



①工事状況写真 10/7 撮影（象潟 IC 付近）

秋田県と山形県を安全・快適に結び、救急医療へのアクセス向上や災害時の道路確保を図るとともに、人や物の移動を円滑にし、地域間の交流や連携を支える道路です。



【E7】日本海沿岸東北自動車道